

## みんなで創る いきいき集落営農 ～平成 26 年度 集落営農推進大会～



10月2日、川辺地域において、県主催による平成26年度集落営農推進大会が開催され、県内の集落営農組織リーダーや行政関係者など約540人が参加しました。参加者は、午前中、川辺町内の4集落営農組織「(農)どんどんファーム古殿、(農)土里夢たかた、(農)ハートフル永田、田部田農業機械利用部会」の現地視察を行い、経営安定のための工夫などについて説明を受けました。午後からの全体会では、滋賀県甲賀市の(農)酒人ふぁ～むの福西義幸氏による基調講演「忍の血が育んだ集落営農」や、現地視察先の代表者などによるパネルディスカッションが行われました。会場では、熱心にメモをとる姿も多く見られ、集落営農組織の運営や先進的な取組事例などについて学ぶことで、地域農業の発展につなげたいという思いが伝わってきました。



▲現地視察では、それぞれの場所に100人以上の参加者が集まりました。参加者は現地の様子を直に見渡しながら、興味深そうに説明を聞いていました。

▲パネルディスカッションは「人材の確保・育成にどう取り組むか」というテーマで行われました。

## 市 総合防災訓練 ～災害に備えて、各機関と住民が連携～

9月7日、川辺町永田の古市河川敷広場一帯で南九州市総合防災訓練が行われ、地元の自主防災組織などから約500人が参加しました。災害により要救助者が発生しているとの想定で、住民の避難誘導、水防、救出、救護、消火などの訓練が行われ、参加された皆さんは、本番さながらの真剣さで取り組んでいました。



▲訓練では、消防職員などによる迅速な救出が行われていました。

## 中 秋の名月のもと「ソラヨイ」踊る ～南薩摩の十五夜行事～

9月8日、秋の實りに感謝し来年の豊作を祈る十五夜行事「ソラヨイ」が知覧町中部地区の浮辺、打出口、瀬世上、瀬世向、上之町の5集落で行われました。今年は中福良集落が少子化により休止となりました。年々、子どもたちが少なくなり伝統行事の存続が厳しいようですが、長く引き継がれていって欲しいものです。



▲浮辺集落では、4歳から13歳までの男子12人が参加し、「ソーラヨイ、ソーラヨイ」と掛け声を合わせ、土俵のまわりを元気に踊りました。

## 知覧にも登場 ユニークな案山子 ～池之河内自治会ゴールドクラブ～

桑代から池之河内に向かう道路沿いに、なかむつまじい老夫婦が椅子に腰かけています。これは、池之河内自治会ゴールドクラブがふれあい体験のそば作りをするためのそば畑にこしらえた案山子で、現在では通りゆく人々の写真スポットになっているそうです。手蓑校区公民館の武田館長は「また新しい取り組みを計画中。どうぞお楽しみに♪」と話されました。



▲初めは男性だけが座っていたのですが、いつのまにか女性が隣によりそい、手をとりあってとても仲良く話しているようです。

## 彼岸花植栽5年目、沿道を彩る ～尾曲地域環境保全対策会～

今月号の表紙を飾っている彼岸花は、平成22年から毎年8月中旬に3千本分の球根を地域の子ども会、長寿会などとあすなろ福祉会の利用者ら尾曲地域環境保全対策会が集落の沿道に植えているもので、今年までに植えられた1万5千本分が咲いたものです。見頃は9月中旬から10月初旬。今年ご覧になれなかった方はぜひ来年どうぞ。



▲今年は約1時間かけて72人の参加者が球根を植え、地域の連帯感がさらに深まりました。

## 「豊かに優しく!みどりの風 2014」 ～畑の郷水土利館に色とりどりの風車が～

穎娃町にある畑の郷水土利館では、ペットボトルなどの不用品を利用して、風を感じることでできるアート作品を募集、展示しています。今回7回目となったこのイベントに、高校や企業、福祉施設など22団体が参加し、見事な色とりどりの風車のオブジェが制作されています。11月30日まで展示されることになっていますので、ぜひご来場ください。



▲応募された作品の中から一般の部で金賞に選ばれた市役所耕地課が制作した「池田湖のイッシーと風車発電」。

## 紺綬褒章を受章 ～平和推進事業に寄付した伊藤信雄氏～

昨年、市に寄付してくださった大島郡瀬戸内町在住の伊藤信雄氏が紺綬褒章を授与されました。伊藤氏は、知覧特攻平和会館を訪れた際、特攻隊員の家族宛ての手紙を見て感動し、平和推進事業に役立ててほしいと寄付していただきました。市では、頂いた寄付金を知覧特攻平和会館収蔵の遺書や手紙のレプリカ作成経費に充て、資料の永久保存に努めています。



▲地方自治体などの公益のため、多額の私財を寄付された方に贈られる紺綬褒章および木杯一組が伊藤信雄氏に授与されました。

## 身近なもので MY ものづくり ～長年の経験を伝える～

9月18日、福岡県から就学旅行で来た中学生の体験学習で、中福良校区の長寿会の方と宮崎トミ枝さんが箸と鉛筆づくりを指導しました。箸は近くの竹林



の孟宗竹、鉛筆は桜や梅の小枝を利用。生徒らはMY箸、MY鉛筆が完成すると「できた」と大声をあげて喜んでいました。

▲指導にあたった篠原征美さんは、生徒との交流会で「生涯勉強です。頑張ってください」と話しました。

## 献血功労者に感謝状 ～個人部門で有菌 凱郎 さん～

平成26年度の献血功労者として、川辺町宮の有菌凱郎さんが鹿児島県知事感謝状を受賞しました。これは献血を200回以上受けた方に贈られるものです。有菌さん

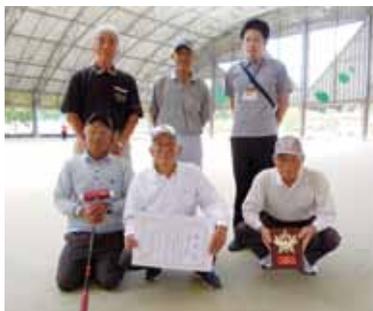


は受賞について、「AB型は少ない血液なので、極力行ってきた結果。献血をすると血液の検査結果も出るので健康管理に役立つ」と話してくれました。

▲感謝状が贈られた有菌凱郎さん。健康の秘訣は野菜中心の食生活だそうです。

## 県大会準優勝！ 九州大会へ ～身体障害者ゲートボール大会～

南九州市川辺町チームが11月21日に開催される第30回九州身体障害者ゲートボール大会（沖縄大会）に県代表として出場することになりました。これは8月6日

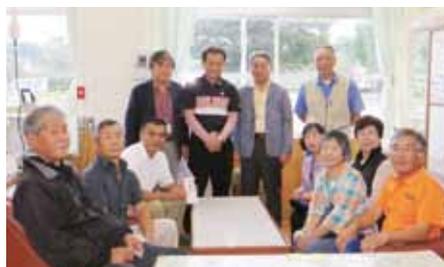


に霧島市のまきのはら運動公園で開催された県大会において、2連覇とはなりませんでしたが、準優勝に輝いたことによるものです。

▲準優勝に輝いた南九州市川辺町チームの皆さん。

## 後輩へ同窓会記念文庫 贈呈 ～昭和35年霜出小学校卒業生～

昭和35年霜出小学校卒業生の代表らが、9月21日に霜出小学校を訪れ、同窓会の記念文庫を学校に設けるための図書購入費を寄付しました。これは以前から「母校へ感謝の気持ちを贈ろう」という声があり、卒業後初めて開催された同窓会において寄付を募って贈ったものです。



▲昭和35年卒業生の方々。（霜出小学校にて）

## まちづくり支援自動販売機 市内2か所に設置

10月6日、松山マザーパークとちらん夢郷館にて「南九州市まちづくり支援自動販売機」の除幕式が行われました。

設置事業者はコカ・コーラウエスト株式会社（松山マザーパーク）と高原ミネラル株式会社（ちらん夢郷館）です。

この自販機の売上の一部を設置事業者から市へ寄付していただき、平和・福祉・地域の活性化・教育文化・スポーツなどを目的とした基金として積み立てられ、南九州市のまちづくりへ活用されます。

また、自販機の外観はオリジナルのデザインとなっています。商品には「知覧茶」を取扱っており、南九州市のPR効果も期待されます。

この自販機を利用していただくことで、身近な飲料を通じたまちづくりにご支援ください。

▶ちらん夢郷館



▶松山マザーパーク

